

看護 かごしま

Nursing
Kagoshima



<http://k-kango.jp>

2016.Summer Vol.164



※表紙写真を募集しています。募集要綱を最後のページに載せておりますので、ご覧ください。

◆平成 28 年度 鹿児島県看護協会総会報告	2
◆新役員紹介	4
◆平成 28 年度 協会長表彰	4
◆日看協表彰・日看協総会報告	6
◆ほっとニュース	8
◆めざせ認定看護師	10
◆新人看護職員卒後研修 ~平成 27 年度実地指導者研修から~	12
◆夜勤・交替制勤務に関するガイドラインについて	
◆地区だより	13
◆ナースセンターだより	17
◆理事会報告	20

平成 28 年度鹿児島県看護協会会員数

保 健 師	432 人
助 産 師	373 人
看 護 師	9,951 人
准 看 護 師	854 人
合 计	11,610 人

平成 28 年 7 月 2 日現在





平成 28 年度 公益社団法人 鹿児島県看護協会通常総会



平成 28 年 5 月 21 日、公益社団法人 鹿児島県看護協会の通常総会が出席者 548 名、委任状 9,922 名、計 10,470 名のもと開催された。

式典では、物故会員への黙祷の後、平川会長より挨拶があり、まず、いまだに余震が続く熊本地震に対して被災された皆様へのお見舞い、災害ナース派遣への御礼が述べられた。公益社団法人 5 年目を迎え、会員が 11,736 名となり様々な公益活動の推進や組織強化、新たな事業や制度への取り組みなど職能団体としての決意が述べられた。

県保健福祉部長古瀬宏明氏、県医師会長池田琢哉氏より祝辞を頂いた。来賓の鹿児島県看護連盟会長小原圭子氏紹介、祝電披露に引き続き鹿児島県看護協会長表彰が行われ、20 年以上協会並びに保健医療福祉分野で活躍貢献されている 30 名の方に賞状と記念品が授与され、受賞者を代表して、上別府昌子氏（鹿児島医療センター）より挨拶が述べられた。

議題第 1 号、「平成 27 年度事業報告」は、理事会報告、事業報告、職能委員会報告について口頭報告があった。常任委員会報告、特別委員会報告（認定看護管理者教育運営委員会、学会委員会、訪問看護研修検討委員会、看護の日・週間行事実行委員会、パワフル age 委員会、研究倫理委員会、ワーク・ライフ・バランス推進・評価委員会、助産師出向支援事業協議会、性教育推進事業支援委員会）、推薦委員会報告、選挙管理委員会報告、地区活動報告、

日本看護協会理事会報告、九州地区法人会員会報告、特別報告 熊本地震に対する支援状況報告は文書でなされた。

議題第 2 号（第一号議案）「平成 27 年度収支決算報告及び監査報告」が承認された。

議題第 3 号（第二号議案）「定款の一部改正」が承認された。

議題第 4 号（第三号議案）「平成 28 年度改選役員及び推薦委員の選出」が承認され、会長 1 名、副会長 2 名、専務理事 1 名、常任理事 1 名、職能理事 3 名、地区理事 4 名、推薦委員 7 名が選出された。

議題第 5 号（第四号議案）「平成 29 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出」では、代議員 12 名と予備代議員 12 名が選出された。

議題第 6 号「平成 28 年度事業計画」に関して、平成 28 年度の重点課題として、4 項目「地域包括ケアシステムの推進」「看護職が働きやすい環境づくりの推進」「看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進」「会員サービスの強化と会員増」を掲げ、県内 7 地区と連携して取り組む具体的な計画が報告された。

引き続き、議題第 7 号「平成 28 年度収支予算」が承認された。

最後に、各地区から推薦を受けた平成 28 年度選挙管理委員 11 名が議長による任命を受け平成 29 年度総会当日までの任期が確認され閉会となった。

文責 下坂屋 道子



平成28年度 公益社団法人 鹿児島県看護協会役員名簿

役職	氏名	勤務先
会長	田畠千穂子	公益社団法人鹿児島県看護協会
副会長	下仮屋道子	社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院
副会長	中重敬子	公益財団法人慈愛会 看護部支援室
専務理事	原田ケイ子	公益社団法人鹿児島県看護協会
常任理事	内司啓子	公益社団法人鹿児島県看護協会
保健師職能理事	西原洋子	鹿児島北保健福祉局保健福祉課健康企画課
助産師職能理事	園田良子	鹿児島市立病院
看護師職能理事I	松原幸江	いはた木野市医師会立花神社外教センター
看護師職能理事II	富吉奈美子	鹿児島市立病院
准看護師理事	中島久美子	公益財団法人慈愛会谷山病院

役職	氏名	勤務先
鹿児島地区理事	山本むつみ	鹿児島市立病院
南薩地区理事	寺師真理子	鹿児島県立薩南病院
川薩地区理事	長井砂都美	川内市医師会立市民病院
出水地区理事	本藏信子	出水総合医療センター
姶良伊佐地区理事	丸目まり子	鹿児島県立北薩病院
大隅地区理事	伊比礼まり子	公益社団法人肝属郡医師会肝属郡医師会病院
大島地区理事	若松千鶴美	大島支厅保健福祉環境部(名瀬保健所)
監事	財部マチ子	社会医療法人博愛会 人間ドックウェルライフ
監事	古川康郎	古川公認会計士事務所



平成28年度 公益社団法人 鹿児島県看護協会長表彰

平成28年度 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会



氏名	所属
生田宏子	医療法人財団浩誠会 霧島杉安病院
入口芳子	霧島市役所
上野ひとみ	バルンハウス上野助産所
植原真利子	公益財団法人慈愛会 谷山病院
上山テルヨ	学校法人赤塚学園タラ看護専門学校
上別府昌子	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
薄窪和江	鹿児島医療生活協同組合総合病院鹿児島生協病院
江並京子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
片平久美子	医療法人愛育会 愛育病院
京田絹枝	出水総合医療センター
熊之細章子	公益社団法人肝属郡医師会肝属郡医師会立病院
小丸みさち	公益社団法人薩摩郡医師会 薩摩郡医師会病院
重田盟子	社会医療法人鹿児島爱心会大隅鹿屋病院
中留いち子	医療法人 愛誠会 昭南病院
中俣直子	社会医療法人天陽会中央病院

氏名	所属
中村みき子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
西真理子	鹿児島市立病院
西原悦子	社会福祉法人恩賜財團 济生会川内病院
仁添絹子	公益財団法人慈愛会 奄美病院
橋口友子	医療法人厚生会 小原病院
服部郁代	医療法人あさひ会 金子病院
早瀬秀子	霧島市すこやか保健センター
原田雅子	鹿屋市保健相談センター
日向みさ子	ケアプランセンターひなたの家
前畠和子	公益社団法人鹿児島市医師会病院
宮原和子	国立療養所 奄美和光園
森元くみ子	独立行政法人国立病院機構南九州病院
山下ひとみ	医療法人光智会 産科婦人科のぼり病院
湯田千代子	鹿児島市立病院
渡邊和代	鹿児島県保健福祉部 保健医療福祉課

(所属は平成28年3月末現在)


平成 28 年度 鹿児島県看護協会新任・再任役員のごあいさつ


会長
田畠千穂子

この度、会長を務めさせて頂くこととなりました。今、地域包括ケアシステム構築に向け、多職種との連携、地域が一つの統合体としての機能を果す重要な役割が看護職に求められております。また、本県は離島・へき地など医療の地域格差が大きく、人材確保は喫緊の課題でもあります。刻々と迫る課題に取り組み、県民の医療・介護のニーズに応えられる最大の専門職集団として、会員の皆様と一緒に頑張って参りたいと思います。



副会長
下坂屋道子

この度、副会長をお引き受けすることになりました。2025 年、35 年問題を控え、施設はもとより在宅・地域における看護職への役割拡大はますます大きく、人々の生活と医療を支える専門職として幅広い分野でニーズに応えることが期待されます。

微力ではありますが、本年度の重点事業、地域ケアシステムの推進、看護職が働きやすい環境づくりの推進、看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進、会員サービスの強化と会員増を目標に会長補佐できますよう努力します。ご指導ご支援よろしくお願ひいたします。



副会長
中重 敬子

この度、副会長をお引き受けすることになりました。6 月の日本看護協会総会に参加し、改めて 2025 年問題に看護職の力と更なる役割拡大が必要となるということを強く感じました。そのため、看護の将来ビジョンを踏まえて、特に看護職の働き甲斐のある職場環境を整え、院内外で活躍できる実践能力の高い看護師の育成が重要だと考えます。本総会から繋がる鹿児島県看護協会の事業を達成するために、会員の皆様のご協力ご指導いただきながら、協会長を補佐し、役割を果たしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



専務理事
原田ケイ子

この度、2 期目の専務理事として就任致しました。地域包括ケアシステムの構築・充実が求められる中、看護職人材確保対策・質の向上に関係者からも期待が寄せられています。新体制の中、会長や副会長を補佐しながら会員の皆様、県民の皆様の健康な生活への実現に向けて、関係機関、関係者の方々との連携を図りながら、本年度の重点事業等の推進に精一杯取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



常任理事
内司 啓子

昨年は、副会長の役割を担わせて頂く中で、会員の皆さまの頑張りやご苦労を肌で感じて参りました。看護職員が、引き続きやりがいをもって働き続けられるよう関係者と共に取り組んでいきたいと思います。

また、看護の将来ビジョンを基に、それぞれの看護職のキャリア形成の推進により少子高齢化社会に対応できる人材育成に繋がるような研修を含めた支援ができるよう皆さまのご協力を得て、活動して参りたいと思います。



助産師職能理事
園田 良子

この度、助産師職能理事をお引き受けすることになりました。

28 年度重点事業の中で、地域包括ケアの推進をテーマに、切れ目のない妊産婦、乳幼児への支援のために多職種と協働し、地域母子保健活動の推進に努めて参ります。また昨年度、鹿児島県でアドバンス助産師が 100 名誕生しました。今年度は、産科管理者間の連携を促進し、CLoCMiP の推進と活用に取り組んで参りたいと思います。皆様のご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。



看護師職能理事I
松原 幸江

この度、看護師職能I理事をお引き受けすることになりました。

2025年を見据えた社会保障制度の中で、日看協は看護の将来ビジョンとして、いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護を公表しています。看護師職能Iは、職能上の問題を審議し会長へ報告するという任務があります。まもり支える看護ができるよう病院領域における現場の意見をまとめ、看護師職能IIと協力して課題発見に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



准看護師理事
中島久美子

この度2期目の准看護師理事をお引き受けすることになりました。

県内では多くの准看護師の方が働いております。本年度は3地区での研修も開催される予定です。会員数の増加・看護の質の向上に努め看護職が働きやすい環境作りができるように会員の皆様や委員の方々と協働し協会活動に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



鹿児島地区理事
山本むつみ

この度、鹿児島地区理事をお引き受けすることになりました。その責任の重さに身の引き締まる思いです。

来る2025年に向けて、地域包括ケアシステムの機能を最大限に發揮するためには、地域の看護職の連携が必要不可欠です。これからも、より顔の見える関係、ヒューマンネットワークを進めていきたいと考えております。皆様のご指導、ご協力をお願ひいたします。



南薩地区理事
寺師真理子

この度、南薩地区長をお引き受けする事になりました。広域にわたる地区であり、責任の重さを感じております。

少子高齢化が進み、日々変化していく地域の多様なニーズをキャッチし、多職種との連携を図りながら、地域住民に求められる医療を考えいくことが求められています。看護職のネットワークを広げ、会員の皆様と看護の力を發揮できるよう取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



出水地区理事
本蔵 信子

この度、出水地区長を務めさせて頂くことになりました。このような大役は初めてで大変ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆様のご支援とご協力を頂きながら頑張っていこうと思います。

鹿児島県看護協会の一部として、協会の方針のもと支部の活動や研修を通して地域の看護の質の向上に向けた取り組みやと看護職の連携、地域への支援活動を行っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。



大隅地区理事
伊比礼まり子

この度、大隅地区理事をお引受けすることになり、責任の重さを感じております。

大隅地区では、県の委託事業としての新人看護職員研修（OST研修）が地区事業として定着し、成果が得られてきております。

これまでの前地区理事の方々が取り組んでこられた活動の継続と今年度地区活動目標の達成に、微力ではありますが取り組んでまいりますので、会員の皆様のご指導、ご協力を宜しく、お願ひいたします。



平成 28 年度 日本看護協会会長表彰

平成 28 年度日本看護協会通常総会において、平川涼子さん（右）、加治屋伸子さん（左）の両名が日本看護協会会長表彰を受けられました。
おめでとうございます。



平成 28 年度 日本看護協会総会に 30 名参加して

平成28年度日本看護協会総会に参加して

公益社団法人 大島郡医師会病院
西村 みどり

今年度の日本看護協会総会は、6月7,8日の2日間千葉市の幕張メッセで開催されました。塩崎厚生労働大臣が初めて総会に参加され代議員750名を含め一般参加者を合わせて約3000人の方が集いました。坂本すが会長のかつて経験したことがない少子・超高齢・多死社会の課題に積極的に立ち向かい国民の「いのち・暮らし・尊厳を守り支える」ことが私たち看護の使命ですという力強いあいさつで開会の幕開けとなりました。平成27年度に引き続き重点政策は「少子高齢社会に対応する人材育成」「看護職の役割拡大の推進」「看護職の労働環境の整備の推進」

平成28年度 全国保健師交流集会に参加して

大島地区長
若松 千鶴美

6月9日に全国保健師交流会が、約450名の参加のもと開催されました。中板委員長から会の冒頭で、熊本地震における保健師支援活動の調整機能の高さに対する賞賛の言葉をいただき、また、保健師の役割・機能について、公衆衛生の実践者としてどの基盤に立ち、ヘルスプロモーション戦略を展開していくのか力量形成が必要であると言及されたのが印象に残りました。

27年度活動は、「統括保健師の配置促進に向けた取組」、「自治体保健師のキャリアパスモデルの完成」、「地域包括ケアシステムの推進に向けた取組」の3点に絞って報告され、28年度も引き続き重点事業として、「地域包括ケアシステムの構築と推進」と「保健師のキャリア形成」に取り組んでいくと説明がありました。

午前中は、フィンランド大使館の堀内氏及び吉備国際大学大学院の高橋教授からフィンランドのネウボラの取組について、「妊娠から子育ての切れ目ない支援に向けて～対話を重ね、信頼関係をつくるネウボラ～」と題して講演がありました。社会が祝福し、応援するフィンランドの子育て支援ネウボラ(neuvola:アドバイス(neuvo)の場(la)は小学校区に1か所設置)は、妊娠期から就学前までの子どもの健やかな成長・発達の支援はもちろん、母親・父

「地域包括ケアシステムの構築と推進」の4つの柱とそれぞれに具体的な事業を展開していくということでした。

4月に発生した熊本地震に都道府県の医療教護班や日本医師会災害医療チームのメンバーとしても災害支援ナースが派遣され被災者のケアにあたった活動内容の報告があり感動しました。2日目は、各重点事業に関しての質疑応答があり、准看護師問題や地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割、平成28年10月より開始される新会員情報管理体制「ナースシップ」の導入などについて意見や要望が活発に討議されました。全国から参加している会員一人一人の熱い思いが日頃の私たちの活動につながり、またこのことが「看護の将来ビジョン」を実現していくためには必要なことだと実感しました。このような貴重な機会を頂いたことに感謝しています。

親・きょうだいの家族全体の心身の健康サポートを目的として、専門の担当者(通称ネウボラおばさん)が効率的に支援する体制で、利用者の満足度は高く、利用率はほぼ100%。

高橋教授からは、日本の保健師への期待として、利用者を主人公とし、「対話」の積み重ねで、妊娠期から子育て期への「ひとつながり」の支援で、全体の約7割が早期の段階において、つなづきや課題が解消されているフィンランドネウボラの日本版を目指して欲しいとありました。また、支援では最初が肝心で、「初動」が機能してこそ早期支援が可能になることを強調されました。

午後のシンポジウムでは、「創ろう!使おう!私たちのキャリアラダー～先輩が輝き、後輩につなぐために～」のテーマで、市町村・産業保健分野・統括的役割を担う保健師の各立場から所属組織のキャリアラダー・パス等について、自身の経験を通してのキャリアアップの過程について報告がありました。大阪大学の岡本教授からは、キャリアや保健師のミッション等について説明され、平成28年3月に示された自治体保健師のキャリアラダー及びキャリアパスはキャリアアップのための道筋であり、自身の保健師としてのアイデンティティチェック・アップグレードチェックとして活用し、今後も社会の変化に対応し前に進み続けて欲しいと保健師への期待を熱く語られました。自治体の実情に応じたシステムづくりが急務であることを感じました。貴重な機会をいただいたことに感謝いたします。

**平成28年度 全国助産師交流集会に参加して
助産師職能委員長
園田 良子**



6月9日、全国助産師交流集会が開催されました。28年度重点政策・重点事業、助産師職能委員会活動方針等について説明がありました。その中で、CLoCMiPレベルⅢ認証制度について27年度評価と28年度申請について報告がありました。合格者数5,562名、書類の審査については、郵送が多く確認作業に多くの時間を要しましたが、客観的試験においては、大きな混乱もなく99.9%の合格率でした。就業助産師数に占める割合は、地区別には九州・沖縄地区は低く所属施設別には、病院が高い結果で

**平成28年度 全国看護師交流会Ⅱに参加して
看護師職能I委員長
松原 幸江**



看護師職能委員会I病院領域委員長の川本利恵子氏は、「2025年を見据えた医療提供体制の変化に対応すべく、病院でも地域を意識した看護を展開することが重要であるとして、平成27年度は外来看護の役割などについて情報収集し、課題を整理した。平成28年度は看護師長が担うべき役割および支援・教育に関する情報収集と課題発見、意見集約に取り組んでいきたい。タイミングに現場の声を拾いあげていく」と協調されました。平成26年度には、認知症を有する患者への支援に関する課題発見に取り組み、新オレンジプランに看護職への研修が盛り込まれるとともに、今回の診療報酬改定では、「認知症ケア加算」が新設されました。まさに職能委員会のタイミングな取り組みが成果となっていることがわかりました。

次に、変化する医療提供体制に応じた看護師長の役割に関する情報収集の報告がありました。参考になるデータが数多くあり、看護師長のやりがいとして、部下の成長・モチベーションの向

した。29年度は新規申請受付を休止するため、今年度も更なるCLoCMiPの理解と浸透、研修体制の整備・工夫が必要であることが示されました。またCLoCMiPを効果的に活用するには、看護管理者の役割が重要であること、また助産実践能力の一つであるウイメンズヘルスケア能力の強化を図る必要があることが示唆されました。午後より「ウイメンズヘルスケア～女性とその家族の一生を支える」のテーマでシンポジウムが開催され取り組みについての発表がありました。27年度は、鹿児島県から100名のアドバンス助産師が誕生しました。28年度も約80名の方が申請予定です。28年度重点政策・重点事業計画を実施するために、多職種と連携を持ち、自己の役割を果たしていきたいと考えます。

上を挙げていることは共感できました。しかし、看護師長の大変さから、その職に推薦されても断る人も多いというデータもあり、管理職の魅力よりプレッシャーの方を感じている人がいることもわかりました。

特別講演では、柏市立高等学校吹奏楽部総監督で世界的に活躍しておられる石田修一先生の「チームを導くマネジメント術」として、講演がありました。「笑うからしあわせ、目・気・心で寄り添う。勉強は人のためと思うと伸びる」と言われたことが印象に残っています。

シンポジウムでは、「変化する医療提供体制の中で、輝け看護師長!」というテーマで3人の看護師長のスピーチ、そして最後に「看護部長として看護師長の成長を支援」として、兵庫県立がんセンター 副院長兼看護部長の成田康子氏の温かいメッセージの発表がありました。サーパントリーダーシップが看護部長から看護師長、そしてスタッフへと連鎖してゆくと信じていると話され、生き生きした看護部が想像でき、看護師として働く環境・教育は非常に重要な改めて実感しました。鹿児島県の看護職がどのようにやりがいを感じているのか、またどのような課題があるのか常にアンテナを張っていきたいと思いました。

況、認知症の方々への看護職の関わり方、家族の思いなど生の声を聴くことができました。

基調講演では、「暮らし続けられるまちづくりの実践」のテーマでシンポジウムが行われました。

シンポジストとして、NPO町田市つながりの開理事長前田隆行氏による「認知症と共にまちづくり」の現状報告、高齢化率35.4%の岐阜県高山支部の「在宅で認知症の方が安心して暮らしていけるような地域づくり」のモデル事業の取り組み報告、特定非営利活動法人「たんがく」でのがん末期や難病等医療依存度の高い方々を対象に「地域とともにその方らしくここで“生きる”を支援する」をテーマにホームホスピスでの活動報告が行われました。地域で安心して暮らしていけるまちづくりが、着実に進んでいることを学びました。専門職としてどのように住民を支えるか、どのような体制づくりが必要か、看護師の果たす役割が重大であることを痛感しました。

平成28年度全国看護師交流集会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)に参加して



**看護師職能II委員長
富吉 奈美子**

6月9日、全国看護師交流集会Ⅱが開催されました。平成27年度活動報告、関連事業「特別養護老人ホーム・介護老人保健施設における看護職員実態調査」の報告、平成28年度重点政策・重点事業および活動方針について報告がありました。実態調査の報告では、新規採用看護職員離職率が特別養護老人ホームでは39.8%、介護老人保健施設では38.3%と離職率が高く、採用しても1年内にやめてしまう現状、労働環境に対する評価では、医療事故を起こさないか不安、看護職の責任が重い、等の回答が報告されました。また、「ゆめのほとり—認知症グループホーム福寿荘」の自主上映があり、グループホームでの生活状

ほつとニュース

1

平成 28 年度 看護の日記念式典

本年度は 5 月 12 日（月）に鹿児島県医師会館で開催されました。看護学生を中心には 300 人以上の参加があり、2 階会場まで使用する盛況ぶりでした。式典に先立ち鹿児島市在住の多様な音楽イベントを主宰されている藤明美さんの奄美島唄等と作曲・編曲活動等取り組まれている伊地知元子様によるピアノ演奏等のミニコンサートが開かれ、看護体験を踏まえながらの心温まる時間になりました。

式典では長年にわたり看護業務に従事された 10 名の方々に『看護業務功労者県知事表彰』が授与され、被表彰者を代表して屋ます江さんが『生涯現役で仕事が持てたことに感謝したい』と謝辞を述べられた。その後、牧之瀬良子さんが医療資源の少ない環境の中で家族の看護、へき地診療所での体験発表がありました。講演は鹿児島こども訪問看護ステーションの渡邊理恵さんから「社会に求められる看護の意義～訪問看護の大切な意味～」を十島村役場住民課の今田フサ子さんから「看取りの看護経験から見えてくるもの」と題しての講演があり、在宅看護の意義・役割を認識する機会となりました。

**2**

平成 28 年度 看護業務功労者県知事表彰

壹 岐 信 子	伊 佐 市
屋 ます江	奄 美 市
上 村 ひとみ	鹿 児 島 市
高 いとみ	さ つ ま 町
末 良 子	さ つ ま 町
谷 孝 子	始 良 市
吉 智 子	さ つ ま 町
川 留 道 子	阿 久 根 市
新 藤 清 美 子	薩 摩 川 内 市
井 曾 於 市	
牧 井 照 子	南 九 州 市
之 森 照 子	

**3**

まちの保健室



平成 28 年 5 月 28 日（土）にイオン鹿児島鴨池店で「まちの保健室」を開催しました。血圧測定コーナー（血圧、血管年齢、骨密度）、相談コーナー（健康、介護、お薬、進路、たばこ）、乳がん自己検診、ブチナース体験、BLS 講習と今年は新たな試みとして、貯筋運動を行いました。参加して下さった方には、アートバルーンをプレゼントし喜んで頂きました。来場者数延べ人数 1575 人でした。

4

熊本地震への対応

災害支援ナースの派遣について

4月14日(木)から発生しました熊本地震において当看護協会では、4月23日(土)から6月1日(水)まで災害支援ナースを被災地へ派遣して参りました。

皆様方におかれましては多忙な中、多大な御協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

当協会からは17施設と個人会員1名の28名の方に御協力いただき、派遣いただきました災害支援ナースの方へも重ねて感謝申し上げます。

義援金について

各医療機関また個人会員の方から真心の義援金をお届けいただき感謝申し上げます。

7月1日現在、1,925,707円いただき、7月8日に熊本県看護協会へお送りいたしましたので、報告いたします。

5

平成28年10月からスタート!!新しい会員情報管理体制ナースシップ

1. 会員証

6月7・8日の日本看護協会通常総会で新会員証のデザインが公表されました。新会員証は、プラスチック製です。平成28年6月4日までにご入会された方の新会員証が鹿児島県に届くのが、**8月22日以降**になりますので、それから皆さまのお手元に配布させていただきます。6月4日以降ご入会された方の新会員証も順次お送りさせていただきますので、旧会員証（紙製）は、新会員証がお手元に届くまでお使いください。なお、新会員証は永年使用となります。お名前・施設等に変更があった場合は平成28年10月から、再発行の手続きが可能になりますので、当協会へご連絡ください。



2. 平成29年度継続入会について

新会員証と一緒に、継続申請書兼口座振替依頼書もお送りいたします。継続申請書兼口座振替依頼書は、平成28年6月4日までに入会受付をされた方の分が届きます。

それ以降にご入会された方の継続申請書兼口座振替依頼書は、随時お送りさせていただきますので、しばらくお待ちください。

☆問い合わせ先⇒鹿児島県看護協会 会員管理担当：099-256-8081

6

鹿児島県看護協会の新しいロゴマークが決定しました。



県を象徴する雄大な桜島と青い空と錦江湾の青い海で「清潔感」を、そして、噴煙をモチーフにしたハートで「心に寄り添う看護」と「安心感」を表現しております。

是非、看護協会のシンボルとしてご活用ください。

7

ホームページについて

本会のホームページに他団体が主催される研修で、看護職員に参考となるご案内がありましたら、本会のトップページから「他団体主催研修会のご案内」に掲載しますのでどうぞご覧ください。

認定看護師紹介

めざせ!認定看護師



認定看護師の活動



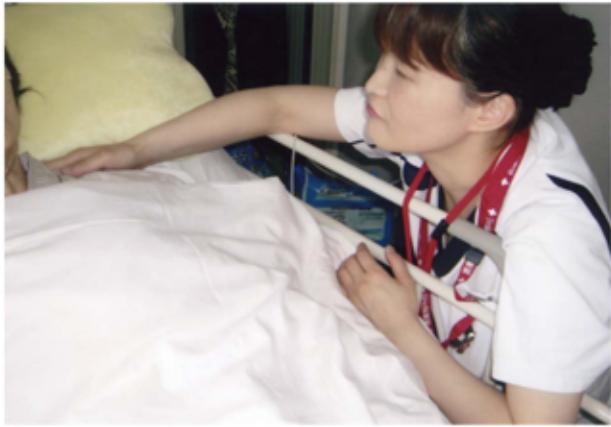
社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院
緩和ケア認定看護師
古川 いづみ

私は2012年に緩和ケア認定看護師の資格認定を取得し、当院の緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。活動当初に比べると現在は、「がんと診断された時からの緩和ケア」という認識が医療現場の中でも浸透しつつあり、病名告知時からの介入や、主治医から「緩和ケア介入の意義」を説明して下さることもあり、病期に関わらず、緩和ケアが積極的治療とともに現場で行われるようになってきました。

活動としては、外来では診察前の面談を行い、今の気がかりや・不快な症状の生活への影響等を確認し主治医へ繋ぎ、内容により、チームの多職種と連携をとり対応に努めています。医療用麻薬で疼痛コントロール中の患者さんへは、主治医と共に痛みの評価を行い、チームの医師・薬剤師と連携をとり、痛みから解放され、その人が望む生活が送れるように努めています。病棟では、患者さん家族が思いを語れる場の提供に努め、症状コントロールを含め定期的にチームと病棟スタッフでカンファレンスを行なっています。今の気がかりや不快な症状に対し、本人家族の希望に添えるよう皆で話し合い、また関わるスタッフの考え方や思いも自由に語ることができる雰囲気作りを心がけています。

私は緩和ケア認定看護師として、患者さん家族、また医療スタッフが困った時にいつでも声をかけて貰えるような関係性を築いていきたい。そして関わりの中で、その人が自分で意思決定できるよう、その過程を支えていくことが大切な役割だと思います。実際は自分自身が、さまざまな人と関わらせて頂く中で、教科書では学べない多くの事を学び体験し、常に「人とのつながり・ぬくもり」を感じながら日々活動しています。その中で、自分自身が人から支えられていることも実感し、日々の原動力に繋がっています。

これからも日常の中で共に考え悩み、また喜びも分かち合い、その上で緩和ケアの魅力『特別なことではなく、ケアの基本的な考え方であること・援助者として、苦しみを抱える人と最期まで関わり続けることができる』ことを多くの医療スタッフと学び合い、感じながら、最期まで患者さん家族と向き合える環境をみんなで築き上げていきたいです。そのためにも、生活の場となる地域との繋がりも大切にし、その人らしい生活がいつでも切れ目なく送れるように活動していきたいと思います。



認定看護師紹介



認定看護師の活動

社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院
がん放射線療法看護認定看護師
神村 陽子

私は 2011 年にがん放射線療法看護認定看護師の資格を取得し、放射線治療室に専従として勤務しています。看護師として生活面や精神面のケアなど、医師や技師とは違う視点をもって、患者が安心して治療を受け、有害事象を増悪させることなく治療完遂できるよう日々奮闘しています。

治療室での主な活動としては、「がん」と診断を受け、放射線治療を紹介された患者・家族へICが行われる際の意思決定支援や、治療開始前のオリエンテーション、治療部位に応じた有害事象の予防・対応方法などのセルフケア支援、日々の症状観察、相談対応などをっています。なかでも、外来で放射線治療を受けながら生活している方が、治療による有害反応と上手に付き合い、その人らしく暮らし、治療継続できるよう支援することは、治療室に専従する私の大切な役割の一つと考えています。

放射線治療を紹介された患者や家族の中には「よくわからないけど、怖い。」「家族が被ばくするのでは？」と漠然とした不安を抱いたり、誤解したりしている方もいます。そのため初診時は、緊張がほぐれるよう声かけし、病気や症状、放射線治療に対する思いや患者の希望など伺いながら、誤解があれば払拭し、安心して治療が受けられるよう関わっています。初めは不安と緊張で固い表情だった患者・家族が、帰る頃には「ありがとう。安心した。これからよろしくね。」などと笑顔で話して下さると、ホッとする同時に、治療完遂への道案内を頼まれたような気持ちにもなり、身の引き締まる思いと、やりがいを感じます。

看護師への教育においては、年に数回の勉強会の他、看護部教育プログラムのなかで放射線療法看護の講義を行っています。放射線療法は看護学校での講義時間も少ないうえ、治療施設も限られていることから、学ぶ機会が少ないという現状があります。自分自身も「放射線ってわかりにくい！」と、理解できないことや知らないことも多いのですが、治療室で技師から教えてもらう治療技術の事、医師の考え、患者との関わりで得た経験などを、機会あるごとに伝達し共に学ぶことで、院内全体のケアの質向上につながればと考え活動しています。

最後に協働する放射線治療専門医、診療放射線技師、看護師、事務職員など多くの方に支えられ活動できていることに感謝し、今後も自己研鑽と、放射線治療を受ける患者の看護の質向上を目指し、努力していきたいと思います。



♡ 新人看護職員卒後研修 ~平成 27 年度実地指導者研修から~

新人看護職員の臨床実践能力の育成と早期離職予防を目的に、平成 22 年に新人看護職員研修が努力義務化されました。新人看護職員研修ガイドラインに基づいた研修が始まって 6 年が経過しています。新人看護職員研修ガイドラインに基づく研修体制における組織例と実施状況については図 1 に示すとおりです。

今回は平成 28 年 1 月・2 月に実施した実地指導者研修会について報告します。

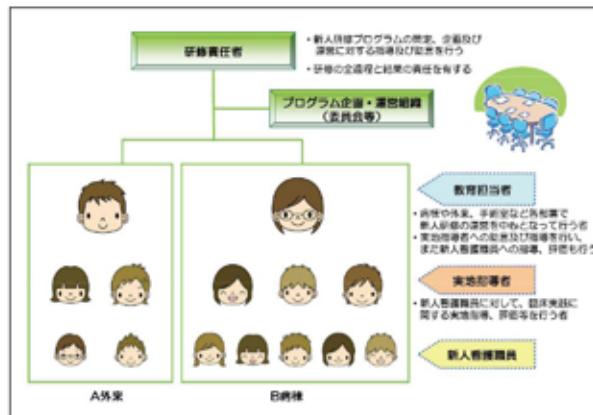
実地指導者研修会では「新人看護職員の職場への適応状況を把握

し、新人看護職員へ基本的な看護実践のための指導及び精神的な支援ができる」という目標のもとに、実地指導者を対象に 3 日間の研修が行われました。1 月 126 名、2 月 124 名、計 250 名の方が受講されてました。

1 日目は「看護基礎教育について～看護に対する態度はどのように育つか～」、新人看護師がどのような基礎教育を受けてきたか。教育の現場から鹿児島県医療法人協会立看護専門学校大山もと子先生が講義されました。午後からはケアの現場から相良病院江口恵子先生が「ケアする人を育てる。～新人看護職員を育てる体制づくり～」というテーマで講義されました。

2 日目は「人を教えること。育てることとは～教育的なかかわりの本質を考える～」、というテーマで藤沢市教育文化センター目黒悟先生による講義とカード構造化法による授業リフレクションの演習でした。

3 日目は鹿児島大学医学部保健学科堤由美子先生の講義で、「新人看護師、実地指導者のメンタルヘルスケア」というテーマで新人看護師の職場適応過程、メンタルサポートのための基礎及び実地指導者のメンタルヘルスについてでした。また午後からのグループワークでは「ケアの現場で新人をどのように育てるか。～共に育つために～」というテーマで相良病院江口恵子先生を中心に、新人看護職員卒後研修プロジェクトチームメンバーが担当しました。各グループ活発な意見が出され、人を育てるととはどのようなことなのか、教えるとはどのようなことなのか、受講生それぞれが自分自身に問いかけ、目指すものが明確になってきていました。



厚生労働省：新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】平成 26 年 2 月 P4 披録

新人看護職員卒後研修実施状況

研修責任者研修

平成 22・23・28 年度

教育担当者研修

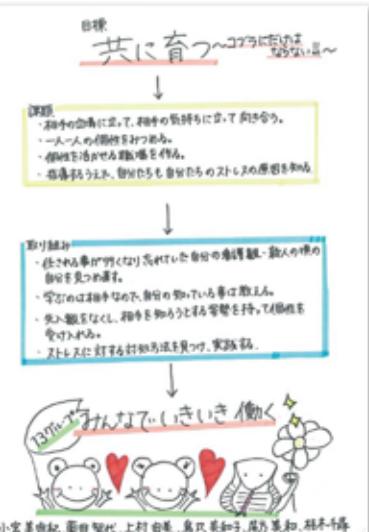
平成 24・25・26・27 年度

実地指導者研修

平成 23・24・25・26・27 年度
(平成 28 年度は平成 29 年 1 月 2 月予定)

【演習】

ケアの現場で新人をどのように育てるか
～共に育つために～



グループワークした内容の発表から引用

♡ 夜勤・交替制勤務に関するガイドラインについて

その 1 ・・・ 夜勤・交替制勤務の負担軽減に向けて

社会経済福祉委員会

患者の安全を守るには、看護師の心身の健康を基盤とした看護提供が必要であり、看護職の健康の保持増進は組織の責務であると共に、看護師自信の責務である。そのためには WL B 推進が不可欠であり、特に夜勤交替制勤務のリスクマネージメントに取り組む必要があるという考え方方がガイドラインの基本理念です。

本協会が平成 24 年に開催した日本看護協会常任理事の小川忍氏を講師に迎えて行なった看護部長研修会には 95 名が参加し、そのうちの 65% が『良く理解できた』『しかし中小施設においては取り組みは困難』という意見が寄せられました。

また、平成 26 年に本委員会が実施した『ガイドラインの周知状況』を知る為のアンケート調査では、一般看護師の 6 割がガイドラインの内容を知らないと答えました。看護管理者にいたってはアンケート回収率が 19.5% にとどまり、さらに『ガイドラインを知っている』と答えた施設はそのうちの 12% (全体の 2.4%) となり、ガイドライン周知には程遠い状況であることが推測されました。

そこで当委員会では、夜勤ガイドラインの周知を図る目的で、ガイドラインの重要項目を『看護かごしま』に 4 回シリーズで掲載すること致しました。ガイドラインの実現は難しいと思いますが、知っていることで改善できる環境もあると思われます。当委員会ではより良い労働環境のために情報を発信していきたいと考えています。

地区だより

鹿児島地区



鹿児島地区地区長
山本むつみ

この度、鹿児島地区長をお引き受けすることになりました。5,800余人の会員の皆様のご指導とご協力をいただきながら、微力ではありますが、精いっぱい務めてまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さて、平成28年度の地区集会は、6月11日(土)に、会員の皆様の多数の出席のもと執り行われました。今年度の活動目標は、
1.会員のニーズに合った研修会を企画し看護職の教育の充実

を図る、2.組織拡大と会員入会の促進を図る、3.地域住民の健康保持・増進に貢献する、を掲げ、さまざまな事業計画を立てております。これらの研修会や事業を通して、地域の看護職の連携をさらに強化していきたいと考えております。ぜひ、未会員の皆様にもお声をかけていただき、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

■平成28年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	山 本 む つ み	鹿児島市立病院
副 地 区 長	松 崎 み ほ の	天陽会 中央病院
副 地 区 長	徳 永 弘 恵	鹿児島厚生連病院
書 記	東 る り 子	鹿児島生協病院
会 計	上 原 真 知 子	鹿児島医療センター
屋久島ブロック長	泊 春 代	屋久島徳洲会病院
種子島ブロック長	上 妻 智 子	種子島医療センター
種子島会計	吉 野 政 子	西之表保健所
教 育 委 員 長	吉 元 祐 嗣	厚地脳神経外科病院
地域ケアサービス委員長	五 味 靖	緑泉会 米盛病院
出版規約委員長	小 林 由 美 子	やまびこ医療福祉センター

教育委員		
氏 名	所 属	
荒 殿 や す よ	医療法人 一誠会 三宅病院	
宮 内 幸 子	今村病院分院	
松 元 利 枝 子	大勝病院	
松 山 日 実 子 (協)	鹿児島中央看護専門学校	
倉 谷 京 子 (協)	鹿児島市吉田保健福祉課	

地域ケアサービス委員		
氏 名	所 属	
谷 村 昭 子	鹿児島市立病院	
上 田 杏 奈	愛育病院	
溜 京 子	かごしま高岡病院	
畠 中 恵 子	パールランド病院	
前 園 裕 子	鹿児島市医師会病院	
鎌 田 真 早 紀	鹿児島赤十字病院	
川原美津子 (協)	白石病院	
末永真由美 (協)	慈愛会事務局 医療情報室企画部	
神原 規子 (協)	鹿児島市東部保健センター	

医療安全情報ネットワーク委員会		
氏 名	所 属	
脇 和 代	鹿児島市医師会病院	
鳥 越 千 秋	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	
千 田 清 美	今給黎総合病院	

推薦委員		
氏 名	所 属	
岩 本 貴 美 子	上山病院	
近 藤 ひ と み	今給黎総合病院	
鈴 木 ち み え	南風病院	

出版規約委員		
氏 名	所 属	
宮 村 い づ み	鹿児島徳洲会病院	
今 村 晶 子	済生会鹿児島病院	
前 田 智 子	生協クリニック	

南薩地区



南薩地区地区長 寺師真理子

この度、南薩地区地区長に就任することになりました。

南薩地域の高齢化率は、鹿児島県内でも30%台で全国平均の20年先の状況を示しており、地域のニーズも日々変化し

多様化しています。

医療・福祉においても、働く場や役割の多様化と拡大、地域住民の専門職への期待は大きくなってきています。その為、専門職として地域に必要とされる更なる知識・技術のレベルアップを図ることは必須とされます。

疾病や障害を持ちながらもその人らしく暮らせる社会、認知症や在宅看取りなど、地域包括ケアシステム構築に向けて、医療・福祉の連携は大きな力となります。地域住民に求められる医療の提供を行っていくために、地域と医療のネットワークを広げ、役員一丸となって、人材育成と地域貢献に会員の皆様と共に、取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

■平成 28 年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	寺 師 真 理 子	県立薩南病院
第 1 副 地 区 長	畠 中 勇 二	訪問看護ステーションさくら
第 2 副 地 区 長	國 生 道 代	国立病院機構指宿医療センター
書 記	屋 和 代	県立薩南病院
会 計	井 上 豊 子	川辺生協病院
評 議 員	松 永 真 理 亜	国立病院機構指宿医療センター
評 議 員	福 満 順 子	医療法人あさひ会 金子病院
評議員兼教育委員長	鮫 島 麗 子	南九州さくら病院
評議員兼地域ケアサービス委員長	日 高 貴 子	加世田保健所

教 育 委 員		
氏 名	所 属	属
鮫 島 麗 子	南九州さくら病院	
田 中 誠	いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター	
福 留 マ サ 子	さつま訪問看護ステーション	
諏 訪 園 瞳 子	菊野病院	
吉 内 朝 子	医療法人杏林会 丸田病院	
森 陽 子	指宿浩然会病院	
松 元 江 利	枕崎市立病院	

地 域 ケ ア サ ー ビ ス 委 員		
氏 名	所 属	属
伊 藤 寛 子	指宿保健所	
濱 田 里 香	国立病院機構 指宿医療センター	
濱 田 薫	南さつま市立坊津病院	
日 高 貴 子	加世田保健所	
津 久 井 友 子	花牟禮病院	
中 梅 田 洋 絵	いちき串木野市地域包括支援センター	
米 丸 美 紀 子	日置市役所健康保健課	

川薩地区



川薩地区地区長 長井 砂都美

昨年地区長をお引き受けしてから、1年が経過しました。無我夢中で1年が過ぎ、あっという間のようでもありました。

平成27年度川薩地区では「都道府県看護協会地区支部等における 看護職連携構築モデル事業」に参加しました。地域包括ケアシステムの中で看護職を中心としてどのように連携していくか、講演を聴き各職種、各施設、各立場(医療、介護、福祉、行政)から意見を出し合い、地域での課題の抽出を行いました。また、県の委託事業である新人看護職他施設合同研修会も行いました。研修前に自身の目指す看護とは何か考えてもらい、最終の研修会で再度、看護観を振り返る、グループワークを行いました。今年度、新人看護職の研修を引き続き実施します。また昨年のモデル事業に引き続く事業や、看護管理者交流会を継続していきます。会員以外にも受講していただき、地域の看護職の質向上や、新人看護職のネットワークの構築にもつながっていくことを期待しています。

地域包括ケアシステムの構築が進められる中、看護職に求められる期待は大きく、また責任も感じます。地区長2年目の今年度は、昨年の経験と反省をもとに、スムーズな協会運営となるように、活動していくと考えております。今年度も引き続き地区会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

■平成 28 年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	長 井 砂 都 美	川内市医師会立市民病院
副 地 区 長	谷 川 智 子	クオラリハビリテーション病院
副 地 区 長	柳 田 千 草	びくすまい訪問看護ステーション
書 記	村 尾 智 子	川内市医師会立市民病院
会 計	水 流 佳 世 子	済生会川内病院
評 議 員	福 山 千 美 子	上村病院
評 議 員	今 別 府 の み こ	市比野記念病院
評 議 員	久 保 田 直 子	川内看護専門学校
評 議 員	寺 田 恭 子	クオラリハビリテーション病院
評 議 員	城 ノ 下 実 千 代	川内市医師会立市民病院

教 育 委 員 会		
氏 名	所 属	属
久 保 田 直 子(副長)	川内看護専門学校	
中 園 ゆ き み	クオラリハビリテーション病院	
永 井 野 輝 代	済生会川内病院	
後 藤 千 草	薩摩郡医師会病院	
吉 嶺 け い 子	鹿児島純心女子大学	
別 府 晴 美	川内市医師会立市民病院	

地 域 ケ ア サ ー ビ ス 委 員		
氏 名	所 属	属
寺 田 恭 子(委員長)	クオラリハビリテーション病院	
杉 田 由 紀	済生会川内病院	
羽 子 田 小 百 合	宮之城病院	
中 野 輝 美	川内市医師会立市民病院	
鶴 猛 繼	北東地域監視局 保健福祉環境部(川内保健所)	
谷 山 る み こ	森園病院	

医 療 安 全 ネ ッ ト ワ ー ク 委 員		
氏 名	所 属	属
城 ノ 下 実 千 代	川内市医師会立市民病院	
植 田 み よ こ	クオラリハビリテーション病院	

出水地区



出水地区地区長 本藏 信子

この度、出水地区長に就任することになりました。協会活動についてまだまだ不勉強なことも多々ありますが、県協会活動のもと委員の皆様の協力を得ながら地区看護協会活動を推進していきたいと思います。

先日、全国代議員として千葉県で行われた平成28年度日本看護協会通常総会に参加してまいりました。重点政策の1つに高齢者だけではなく、子供や子育て世代にも事業の対象を拡大し「全世代型の地域包括ケアシステム」の構築をありました。超少子高齢化を迎える社会の中、出水地区でもたくさんの課題を抱えておりますが看護に期待されることは高く、多くの活躍の場も求められています。このような背景の中、地区活動と致しましても、看護師が専門的な知識や技術を補完しあえる連携、看護の質向上のための教育活動、医療安全活動、地域でのケア活動 を計画的に取り組んでまいりたいと思います。

会員の皆様のご指導 ご支援を宜しくお願い致します。

■平成28年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	本 藏 信 子	出水総合医療センター
第1副地区長	花 田 博 子	出水郡医師会広域医療センター
第2副地区長	堀 口 真 美 子	出水郡医師会立第二病院
書 記	岩 下 瞳	出水総合医療センター
会 計	尻無濱 由紀子	出水郡医師会広域医療センター

教 育 委 員	
氏 名	所 属
橋 元 博	出水郡医師会広域医療センター
川 添 優 子	出水准看護学校
東 て る み	出水総合医療センター 高尾野診療所
森 口 和 代	出水総合医療センター
閑 幸 代	鹿児島県立野田女子高等学校
松 島 美 津 子	出水郡医師会立第二病院

地 域 ケ ア サ ビ ス 委 員	
氏 名	所 属
内 田 美 鈴	出水郡医師会立第二病院
田 代 真 由 美	出水郡医師会広域医療センター
小 轆 純 子	出水総合医療センター
宮 崎 多 恵 子	莊記念病院
今 村 静 香	出水保健センター
田 上 智 子	阿久根市役所健康増進課

医 療 安 全 ネ ッ ツ ウ ク 委 員	
氏 名	所 属
戸 崎 明 美	出水総合医療センター
牟 礼 愛	出水郡医師会広域医療センター
平成28年度 全国代議員	
氏 名	所 属
本 藏 信 子	出水総合医療センター
予備) 野添伊知雄	出水郡医師会広域医療センター

姶良・伊佐地区



姶良・伊佐地区地区長 丸目 まり子

地区長をお引き受けして1年が経ちます。会員の皆様、地域医療機関の方々のご協力を得、地区活動が実施できましたことに感謝申し上げます。

平成28年度は、地区組織強化と拡大を図るために、会員数の確保に取り組んでまいります。今年度は県の委託事業である新人看護職員合同研修をお引き受けし看護職の質の向上やネットワークづくり、また地域住民の皆様の健康の保持増進のために地域ケアサービス委員会として「町の保健室」による健康相談等にも引き続き取り組んでまいります。地域包括ケアシステム構築が求められる中、看護職に従事する私達一人ひとりが地域住民の皆様の生活の質を守り、住み慣れた地域で暮し続ける手助けをともに考え支援していくように取り組んでいかなければならぬと思います。看護職が多職種と協働し、元気で明るく働き続けられるための環境づくり、看護の質向上を会員の皆様とともに考えてまいりたいと思います。

今年度も教育研修事業・地域ケアサービス事業活動へのご協力、ご支援宜しくお願い致します。

■平成28年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	丸 目 ま り 子	県立北薩病院
第1副地区長	鯨 島 明 子	国立病院機構南九州病院
第2副地区長	花 牟 禮 稔	霧島桜ヶ丘病院
書 記	島 煙 吟 子	県立北薩病院
会 計	山 口 敬 子	県立北薩病院

教 育 委 員	
氏 名	所 属
田 中 千 秋	タオラリハビリテーション病院あいら
迫 田 里 美	フィオーレ第一病院
宇 都 未 望	寺田病院
岩 田 真 紀 子	県立北薩病院
三 島 真 美	霧島市立医師会医療センター
馬 場 園 由 美	国分生協病院

地 域 ケ ア サ ビ ス 委 員	
氏 名	所 属
井 出 元 輝 美	ザ王病院
西 里 香	県立姶良病院
松 下 順 子	大口病院
敷 根 富 貴 子	整形外科松元病院
中 村 真 理 子	霧島市すこやか保健センター
松 田 郁 子	協愛病院

は新任

大隅地区



大隅地区地区長 伊比礼まり子

この度、大隅地区地区長をお引き受けすることになりました。大隅地区的地区事業の特色として、新人看護職員多施設合同事業は、県の委託事業として、新人看護職員研修(OST研修)を平成23年度から実施しており、地区事業として定着してきております。

平成28年度地区集会では、県看護協会副会長に当地区から初めて就任された下仮屋道子副会長をお迎えして、会員の皆様のご協力のもと、無事に終えることができました。また、集会後の特別講演では、昨年に引き続き、WMCommons 中山真・中原誠先生から「笑顔と元気になれるコミュニケーション技術」と題してお話をいただきました。心から笑いを体感しストレス発散できた1時間30分でした。出席された皆様からも大変好評でした。

2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が進められている中、大隅地区的高齢化、人口減少、過疎化は待ったなしの深刻な状況です。私達、看護職に求められる役割、期待は、ますます拡大しており、地域の人々の期待に答えられるよう、地区事業を通じて、活動を推進していく必要があります。これまで以上に、大隅地区的職場を超えたネットワークと施設間連携の充実が図れるように、地域の看護職の皆様に、ご指導とご支援をお願いし、役員一同、力を合わせて、地区活動を進めていきたいと思います。宜しくお願ひ致します。

■平成28年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	伊比礼 まり子	肝属郡医師会立病院
第1副地区長	加治木 ゆかり	徳田脳神経外科病院
第2副地区長	谷 山 正 子	池田病院
書 記	宮 田 和 世	肝属郡医師会立病院
会 計	若 松 良 子	肝属郡医師会立病院

教育委員		
氏 名	所 属	
高 田 美 穂 子	肝属郡医師会立病院	
木 下 徹 子	大隅鹿屋病院	
近 间 真 由 美	春陽会中央病院	
柊 木 野 明 美	池田病院	
本 山 真 紀 子	鹿屋医療センター	
横 手 直 子	おぐら病院	
吉 田 小 百 合	昭南病院	
福 元 由 美	星塚敬愛園	

地域ケアサービス委員		
氏 名	所 属	
田 代 良 一	垂水中央病院	
松 相 恵 子	鹿屋医療センター	
杉 原 春 美	池田病院	
田 平 直 子	曾於医師会立病院	
又 野 貞 代	春陽会中央病院	
伊 達 由 和	大隅鹿屋病院	
柿 元 良 一	おぐら病院	
安 楽 砂 織	曾於医師会有明病院	

医療安全ネットワーク		
氏 名	所 属	
今 城 峯	鹿屋医療センター	
楠 園 美 寿 子	肝属郡医師会立病院	

は評議員

大島地区



大島地区地区長 若松千鶴美

大島地区役員及び会員の皆様の御協力のもと、6月11日(土)に地区集会及び講演を、雨にもかかわらず多くの参加者を得て、県看護協会ロゴマークのハートの噴煙(看護の熱き心)に見守られ、無事、開催することができました。感謝申し上げます。

今、看護職に求められる地域包括ケアに、どう取り組み・貢献していけばよいのか、純心大学看護栄養学部の八田冷子先生の実践に裏付けられた講演に、100名を超える参加者一人一人が、この奄美で「いのち・暮らし・尊厳を まもり支える看護」を考え、推進するためのビジョンを確かめるよい機会となりました。今後も島内の認定看護師の方や島外から講師をお招きして、看護の質向上を目指した研修会を開催するとともに、多職種と連携したまちの保健室の開催、中高生向けガイダンスでの看護職のアピールをするなど地域の方々と積極的に交流して参ります。今年度も会員の皆様とともに地区活動を推進してまいりますので、ご協力、ご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

■平成28年度 役員

役 員	氏 名	所 属
地 区 長	若 松 千 鶴 美	名瀬保健所
第1副地区長	岩 越 は る み	奄美和光園
第2副地区長	池 知 美 千 代	大島郡医師会病院
書 記	勇 成 美	名瀬保健所
会 計	川 路 悠 子	名瀬保健所
医療安全情報ネットワーク	田 畑 知 子	県立大島病院
大島郡区プロック代表	榮 明 美	宮上病院

教育委員		
氏 名	所 属	
森 田 秀 樹	大島郡医師会病院	
田 中 浩 二	奄美和光園	
世 門 奈 穂 美	名瀬徳洲会病院	
赤 塚 美 帆	県立大島病院	
下 田 な お み	奄美中央病院	
中 村 美 千 代	奄美病院	

地域ケアサービス委員		
氏 名	所 属	
渡 秀 峰	名瀬徳洲会病院	
宮 山 尚 子	大島郡医師会病院	
直 原 千 里	奄美和光園	
長 井 安 代	奄美看護福祉専門学校	
大 瀬 美 智 子	県立大島病院	
良 山 朋 子	奄美中央病院	

医療安全情報ネットワーク委員		
氏 名	所 属	
田 畑 知 子	県立大島病院	
松 田 み ゆ き	大島郡医師会病院	

は評議員

ナースセンターだより

Vol.117

ナースセンター

NOW

平成28年度の総会を終え、ナースセンターも本年度事業が本格的にスタートしました。ナースセンターは平均年齢やや高めですが、昨年から事務職員が加わり、総勢5名で新しい事業にもチャレンジ中です。

ナースセンターの命綱であるNCCS（ナースセンターコンピューターシステム）が更新となり、とても素晴らしい業務が代わると期待しておりましたが、初期導入の混乱状態が続き、オーバーに言えば毎日どきどきひやひやしております。これからの社会はうまくITを使うことが出来なければ事業の発展は望めませんが、何とか頑張っていきたいと奮闘しております。また、最近話題のセキュリティについて厳しい指導があり、あわせて相談員の教育や職場環境の改善に取り組んでいる段階です。

お知らせ!!

・再就業支援セミナー(託児付)

看護職として働きたいけれどブランクがあり不安…という皆様のために、最近の看護に関する知識や技術を学ぶセミナーを開催。講義日の2日間は託児付(6ヶ月児以上)です。

【第2回鹿児島地区再就業支援セミナー】受付中!

講義:8月17日(水)~18日(木)

実習:8月25日(木)

申込期間:6月17日(金)~7月19日(火)

【第3回鹿児島地区再就業支援セミナー】

講義:10月25日(火)~26日(水)

実習:11月 2日(水)

申込期間:8月26日(金)~9月26日(月)

*詳細は看護協会ホームページから申込用紙をダウンロードし、郵送、来所またはメールでお申ください。

まずはお電話でお問合せ下さい。

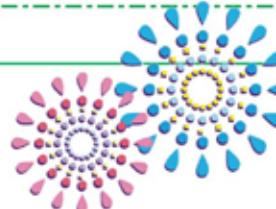
・訪問看護研修

～訪問看護研修～始まりました。

今年度は①入門研修(15名)②養成研修(22名)③管理者研修(26名)です。

各講師や仲間に刺激を受けながら気づき、仕事を振り返りながら、魅力やスキルを学ぶ貴重な時間になっているようです。

*一日単位の受講可能です。



・学校訪問

今年度の訪問予定18校のうち6月までに5校を終了、今後働く仲間となる卒業年次の学生にNC情報を伝達しています。

・ワークライフバランス(WLB)

平成26、27年度からWLB推進ワークショップ参加の施設報告会を11月15日(火)に実施します。多数ご参加下さい。

・ふれあい看護体験

今年も5月の看護週間に合わせて、6施設でふれあい看護体験を実施いたしました。夏休み期間(7/23~8/21)も県内の50施設で実施予定です。未来の看護師をめざして、よりよい体験が出来ることを願っております。

参加人数
53人

It's new!

1.技術支援セミナー

これまで鹿児島大学病院に委託し、採血に特化した技術支援を行なっていましたが、社会の医療動向を見据えながら、胃瘻の管理や吸引技術などについても学べる機会を設けたいと考えています。技術研修の協力病院を増やし、技術に不安のある求職者が自信を持つて再就業できる支援システムを整えている段階です。

採血の技術支援セミナーはこれまでどおり実施中です。(毎月 10 日まで申し込み、第 4 金曜日実施)

2.地域の再就業支援セミナー

本年度ナースセンターにおける再就業支援セミナーは 3 回計画しておりますが、地域によっては物理的に参加が難しい場合があります。そのため鹿児島市外の病院・施設が行なっている再就業支援セミナーを活用し、地域でブランクのある求職者が受講できるようシステムを整える予定です。

*周囲に再就業したいが自信がない、経験が足りないので研修を受けたいという看護職の方がおられたらこの情報を伝えください。

第一弾 求人・求職サービス実施します!

ナースカフェ

～第一弾は訪問看護の魅力にふれる～

オープン日時：平成 28 年 9 月 24 日（土）13:30～16:00

場 所：鹿児島県看護協会 2 階特設会場

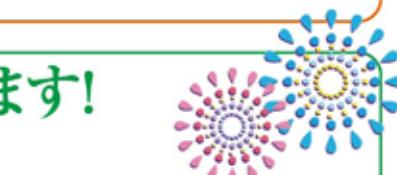
*再就業への第一歩に！ Let's Café !

詳細については後日、ご案内いたします。

かごしま お仕事探索！施設めぐりツアー

初めての試みとして、施設訪問ミニバスツアーを企画します。

11 月を目途に、「地域連携」をテーマに実施予定です。



地域ハローワーク出前相談



昨年より、熊毛・名瀬・鹿屋・国分・加世田・指宿・出水・川内・鹿児島の 9 ハローワークにおいて 1 回／月、就業相談を行なっています。これまで相談業務が主でしたが、今後はナースセンターとより連携し、再就業に結びつくシステムになっていきます。

*ハローワークの相談日は鹿児島県ナースセンターのホームページをご覧ください



とどけるん(離職届け)

昨年10月からスタートした「看護師等の届出制度」通称「とどけるん」「離職届け」は、6月1日現在、全国で24760名、鹿児島県では573名の届け出がありました。

届け出る方法は、自分でネットの「とどけるん」から登録する人、ハローワークに置いてある「届出用紙」に記入し郵送する人、直接ナースセンターに来て届ける人、退職時に施設側に代理届出を依頼する人などさまざまです。

また、届け出た人の約3割の人がeナースセンターを利用し求職活動を行っています。具体的には、eナースセンターで求人情報を見たり、ナースセンターに来て、または電話で就業相談を行っています。

お仕事探しを行う予定の方は、届け出の際に「eナースセンターを利用する」にチェックすると、自動的にeナースセンターの登録も出来ます。ぜひ、ご利用ください。

ナースセンターは、いつでも皆様のお役に立ちたいと思っています。
届出制度・求職活動について不明な点は遠慮なくナースセンターへご相談ください。



ハローワーク連携事業

平成27年10月からハローワークとナースセンターの連携事業が全国的に始まり、ハローワークの求人・求職登録と同時にナースセンターへの登録申請も可能となりました。

このことから登録者が増え、ナースセンターが提供できる求人・求職情報もより幅広くなりました。

また、同じく昨年10月から始まった「看護師等の届出制度」によるナースセンター登録者の増加も影響し、鹿児島県ナースセンターの平成27年度登録者数は、求人数で前年度比1.3倍、求職者数で前年度比1.6倍と増加傾向にあります。

「看護職の地域における就業支援」という共通の目的に向かって、今後もハローワークとナースセンターは連携を強化していきます。看護職や求人施設の皆様にとって、より身近な相談窓口となれるよう取り組みを続けたいと思います。

ぜひナースセンターをご活用下さい!

【求人・求職登録状況】

	4月	5月
求人数	626	611
求職者数	387	404
就業者数	39	42

鹿児島県ナースセンター

(看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002)

★窓口・お電話でのご相談★

相談日：月～金 午前9:00～12:00
午後1:00～ 4:00

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-5

TEL：099-256-8025

FAX：099-256-8079

mail：kagoshima@nurse-center.net

ホームページ <http://k-kango.jp/>



理事会報告

第1回 理事会

日時：平成 28 年 5 月 14 日（土）9:30～11:30

◆ 協議事項

- 1 基本方針
 - 1) 平成 28 年度事業計画及び重点事業について
 - 2) 平成 28 年度常任委員会・特別委員会 諸問事項（案）
- 2 管理的事項
 - 1) 諸規則の制定及び改正関係
定款施行細則の承認について
 - 2) 管理事項
 - (1) 協会組織について
 - (2) 平成 27 年度年度決算報告及び監査報告について
 - (3) 平成 28 年度通常総会及びプログラム並びに役割分担について
 - (4) 3 戴能合同集会について
 - (5) ロゴマークの審査・決定
 - 3) 会員支援関係
 - 4) 熊本地震への対応について

★ 報告事項

- 1 事業推進に関する事項
- 2 管理的事項
 - 1) 管理事項
 - (1) 平成 28 年度収支予算報告書について
 - (2) 平成 28 年度行事予定について（理事会・運営委員会の日程等）
 - 2) 会員支援関係
平成 28 年度会員加入状況
 - 3) その他
第 3 回地域医療構想検討委員会報告

第2回 理事会

日時：平成 28 年 5 月 21 日（土）15:40～16:20

◆ 協議事項

- 1) 役員の選定について
- 2) 会長代行及び専務理事代行の優先順位について
- 3) 定款施行細則の一部改正について

第3回 理事会

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）13:30～16:30

◆ 協議事項

- 1 基本方針に関する事項
平成 29 年度事業に係る県知事への予算等要望書について
- 2 事業推進に関する事項
 - 1) 平成 28 年度通常総会における質問・意見への対応について
 - 2) 平成 28 年度事業計画について
 - 3) 平成 29 年度医療介護総合確保基金（医療分）に係る事業提案について
 - 4) 看護職の特定行為研修に係る研修受講ニーズ調査について
- 3 管理的事項
 - 1) 常勤役員の就業規則（案）の制定について
 - 2) 会員支援関係
 - 1) 協会加入促進について
 - 2) ホームページの活用について
 - 5 その他

★ 報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 日本看護協会通常総会の重点事業等について
 - 2) 助産師出向支援事業実施計画について
 - 3) 看護職就業相談事業について
 - 4) 熊本地震への本県の対応について
 - 5) 県防災総合訓練への参加について
 - 6) 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第 22 回全国の集い in 鹿児島について
 - 7) 第 5 回多職種連携シンポジウムについて
 - 8) 教育事業について
- 2 管理的事項
 - 1) 議事録（第 1 回・第 2 回）
 - 2) 平成 28 年度鹿児島県看護協会役員及び委員会委員について
 - 3) 看護協会職員の事務分掌について
 - 4) 会員支援関係
 - 1) 平成 28 年度日本看護協会会长表彰者について
 - 2) 平成 28 年度鹿児島県看護協会会員数

毎回、日本看護協会理事会報告、職能委員会報告、地区報告、地区長情報交換会報告を口頭で委員会報告他団体会議報告、県外出張報告を書面で行っています。

表紙のリニューアルを考えています。

スタッフ紹介、白衣自慢などなど、看護師で表紙を飾ってみませんか？病院単位でも、病棟単位でも OK です。応募は看護協会広報委員まで。

会員の訃報

会員の小島和子様（享年 58 歳）が 4 月 18 日に御逝去されました。会長名で弔慰金をお送りいたしました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

平成 28 年度広報委員メンバーが変わりました。新しいメンバーで、新たなアイディアをだし、情報発信していきたいと思います。

皆様、御協力よろしくお願ひいたします。
そして、お楽しみに！！ 広報委員一同

看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう



公益社団法人
鹿児島県看護協会
Kagoshima Nursing Association

鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp